

## 2024年度10月月例山行「北アルプス 常念岳・蝶ヶ岳縦走」報告

グレード☆☆☆

10月5日～6日、10名で常念岳～蝶ヶ岳を縦走してきました。8月、下見に行った時期の大雨のために、一の沢登山口の駐車場に向かう道路が陥没し、通行止めになってしまいました。

1日目は、穂高駅に6時半に集合し、タクシーで陥没道路の手前まで行き、そこから徒歩で一の沢登山口へ向かいました。穂高駅に集合した時には小雨が降り天気が心配でしたが、一の沢登山口ではレインも脱いでスタートできるくらい天気が回復しました。前日の雨の影響もあり、登山道の一部は沢沿いではなく、山を高巻するコースもありました。常念小屋に近づくにつれて、天気はどんどんよくなり、常念乗越に着くと、目の前には槍ヶ岳～穂高連峰の山々がど～んと見えました。常念小屋のテラスで夕食までのんびりと山の話をして盛り上がりました。

### 常念乗越→

2日目は5時前に常念小屋を出発し、常念岳を目指しました。常念小屋をスタートする際には、常念岳の上空にはオリオン座が見え、常念岳を目指して登る先行したツアー客のヘッドランプが綺麗に見えました。ところが徐々にガスが増え、辺りは真っ白に、、、。しかし山頂に到着する頃は、ガスが晴れて、槍ヶ岳の山頂がうっすら見えました。ブロッケン現象も見ることができました。常念岳から下山し、蝶ヶ岳を目指すと、すっかり雲がとれ、槍ヶ岳～穂高連峰の山々が姿を現し、大絶景の中、縦走を楽しむことができました。又、途中、雷鳥を見ることができました。常念岳から蝶ヶ岳までは、何度かアップダウンを繰り返し、なかなか大変でした。しかし槍ヶ岳から続く穂高連峰の大パノラマが疲れを忘れさせてくれるくらい素晴らしい景色でした。稜線を吹く風は冷たく、紅葉も真っ只中で、北アルプスはもうすっかり秋でした。



### 常念岳山頂

蝶ヶ岳からは、三股登山口に下山しました。階段が多く、疲れた足にはなかなか堪える下山でしたが、10名全員の足並みも揃い、ほぼコースタイム通りに三股登山口に到着することができました。あらかじめ手配していたタクシーに乗り、穂高駅で解散となりました。

2日目は11時間を越えるハードな山行となりましたが、参加者全員で無事に縦走することができたことに感謝しています。ありがとうございました。

(文責：宮内)



### 蝶ヶ岳山頂

## 【行程概要】

- 1 日程：10月5日(土)～6日(日) 一泊二日
- 2 場所：北アルプス 常念岳(2,857m)、蝶ヶ岳(2,677)
- 3 参加者：CL小玉和孝、SL宮内有加、平本真二郎、平本美恵子、松尾渡、稲越洋一、町田美春、磯崎佳奈、行方真由美、宮崎則子
- 4 天候：[10月5日(土)]くもり時々晴れ、風ほぼなし [10月6日(日)]晴れ、風ほぼなし
- 5 コースタイム  
5日(土) 6:30 穂高駅→7:00 一の沢登山者第2駐車場手前→8:00 一の沢登山口→13:00 常念小屋  
6日(日) 4:45 常念小屋→6:05 常念岳→11:00 蝶ヶ岳→12:30 蝶ヶ岳→16:30 三股駐車場→17:10 穂高駅解散



常念乗越からの眺望



常念小屋での憩い



常念岳山頂(ブロッケン)



雷鳥



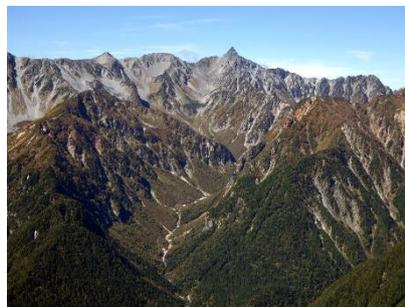
穂高・槍の眺望



蝶ヶ



穂高連峰



槍ヶ岳



蝶ヶ岳到着

## 【参加者の感想】

■町田美春：念願の常念岳山行は、お天気に恵まれ稜線が青空に映え、紅葉もありとても満足な山行でした。槍ヶ岳をまじかに見ることができ、北アルプスの絶景を思う存分堪能することができました。三股登山口への下山は、階段が多くきつかったのですが楽しい山行でした。

■行方真由美：1 日目は一ノ沢から常念小屋まではきつい登りでしたが常念乗越に着いた時は雲を抜けて青空の先に槍ヶ岳などの山並みが見えた時は感動しました。常念小屋では半日ほどのんびりと過ごす事ができて山での充実した時間となりました。2 日目の常念岳から蝶ヶ岳への稜線からは槍ヶ岳～北穂高岳まで雲一つない絶景を何度も見ながら気持ち良く歩く事が出来ました。山小屋での語らいとか景色をゆっくり楽しむ山の楽しさが沢山詰まった 2 日間でした。担当者の方々と参加者の方々に感謝いたします。

■宮崎則子：常念岳は前から行きたい山でした。今回の山行は常念岳～蝶ヶ岳の縦走で 2 日目は約 10 時間の行程。少し不安でしたが、結果は大満足でした。CL 小玉さん SL 宮内さんの綿密な計画と、ペース配分、更に最高の晴天にも恵まれ、全員無事に下山出来た事が何よりです。ありがとうございました。

■松尾渡：今回の登山は好天に恵まれ、清々しい空気を味わいながら北アルプスの山々を見渡すことができた。一日目は一の沢の登山口を 8 時に出発して、黄葉(紅葉とまで言えない)が始まっているのを目に留めながら常念小屋に 13 時半前後に予定通り到着できた。槍ヶ岳・穂高連峰の大景観を眺め、山頂でリラックスできた。二日目は小屋を 5 時前に出発して岩稜を乗り越えながら常念岳を目指す。途中ご来光を仰ぎ、さらに只這うようにして登っていく。狭い頂上で写真を撮った後、蝶ヶ岳を目指す。歩行途中で雷鳥に会い、癒される気がする。今日は蝶ヶ岳まで巨岩の重なる稜線を鞍部まで下り、登り下りの二山を経て、歩行時間 10 時間を要する長丁場であり、三股下山口までが遠くまた全員の足が遅くなるのを感じる。今回も幹事の皆様のお蔭で、全員無事安心安全に下山できたことに大変感謝します。

■平本美恵子：右手に槍ヶ岳、穂高連山、潤沢カールを見ながらの常念岳から蝶ヶ岳の縦走はあこがれでした。山頂を目指して登る途中から霧が流れてきて今回も常念岳からの景色は無理かなと諦め始めていました。が、ピーク直前では霧がサーと晴れそれからは、クリアな空気での周りの山々がすべて見え最高の山行になりました。常念岳から下る途中では、大好きな雷鳥にも会えて幸せだな～を、かみしめながら岩を乗り越え下り、また登りを繰り返し汗だくになりながらも、素晴らしい景色で疲れも吹っ飛ば楽しい山行でした。

■平本真二郎：十数年ぶりの常念岳、蝶ヶ岳山行、前回の記憶が薄い中での登山を開始し、大きく崩落した箇所を驚き林道をしばらく進み、ようやく登山口に入りました。沢沿いの道を幾つもの渡渉を経て進んで行くと、樹林谷の間から常念岳の山頂が見え隠れしながら、常念乗越に到着するといきなり、槍ヶ岳、穂高の壮大な山が現れました。参加メンバー全員で感動の歓喜が上がりました。その後、常念小屋に入りテラスで槍ヶ岳を正面に見ながら生ビールでの乾杯は至福の時間でした。翌日の蝶ヶ岳に向けての稜線歩きでは、真っ青な晴天に恵まれ絵に描いたような槍ヶ岳、奥穂高岳を見ながら紅葉も含めこれ以上ない最高の山行となりました。

■磯崎佳奈：天候に恵まれ、絶景を堪能した素晴らしい山行でした、が、一年のブランクをなめてました。皆様の足を引っ張る結果となり、大変申し訳ありませんでした。鍛え直して来ますのでまたよろしくお願い致します。

■宮内有加：日本山岳会に入会し2年目。今回の常念岳・蝶ヶ岳の山行が月例山行初参加となりました。山岳会のことを何もわからないままSLをさせていただきました。CLの小玉さんにはおんぶにだっこでたくさん負担をかけてしまい申し訳ありませんでした。また、稲越さんには、ペース配分やコースタイムの設定の仕方等、山を歩きながら詳しく教えていただき勉強になりました。私は、長野県大町育ちなので、大好きな北アルプスの山々を埼玉支部の皆さんと一緒に縦走することができ、大満足です。今年、下見も含め、2回も常念岳～蝶ヶ岳を縦走することができました。同じ山でも季節により見える景色が異なり、時に本番では、素晴らしい景色を見ることができました。また来年、埼玉支部の皆さんと一緒に北アルプスに登れたらと思っています。

■小玉和孝：下見した時に2日目の行程が思った以上に長く予定通りの山行が出来るか心配でしたが、天気にも恵まれ全員無事オンタイムで下山出来た事、皆さんに感謝です。これからも、埼玉支部の皆さんと楽しく安全な山行を続けて行きたいと思います。

■稲越洋一：信州エリアに観光で行くと何時も思うのは、安曇野界隈から望む「常念岳」、「前常念岳」を前衛とした姿形が美しく、登山意欲だけでなくフォトジェニックな山だと感じる事です。以前の支部山行で蝶ヶ岳から常念岳への縦走があったのですが参加できず、今回の常念岳から蝶ヶ岳への縦走は楽しみでした。初日の登山開始時は曇り(霧)模様でしたが、登るにつれ、どんどんと晴れて来て、常念小屋ではほぼ快晴に！素晴らしい眺望が待っていました。翌日も早朝から快晴となり常念岳山頂からも素晴らしい眺望が望めました。蝶ヶ岳への縦走もパノラマ表銀座にふさわしく飽きる事のない絶景を眺めながらの行程で、過去に登った常念・蝶の中でも今回が最高でした。参加された「晴れ男」「晴れ女」(誰でしょうか!?)に感謝です！